



9月後半から10月にかけて、市内各地で秋の大祭が行われました。鐘や太鼓の音があちらこちらから響き渡り、見物を楽しみにやってきた方やカメラマンを含め、まち全体がにぎわいを見せていました。

大祭といっても、その行事は多種多様。それぞれの神社で獅子舞を奉納する地区もあれば、太鼓台や奴振りやぶこを披露する地区もあります。代々受け継がれてきた伝統ある方法で、子どもから大人まで祭りを大いに盛り上げました。

そして、その熱気は夜になっても続きます。暗闇に照らされる灯籠の明かりは幻想的な雰囲気醸しだしています。

写真の紹介

①太鼓台を40人以上で担ぎ練り歩く。(多和神社) ②夜、担ぎ歌を歌いながら地区の太鼓台が集結した。(多和神社) ③だんじりの上で演奏されるみゆき太鼓。(石清水神社) ④かねや太鼓のリズムが舞に躍動感を与える。(志

